

(一般質問)

質問日	令和6年12月11日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	12	会派名	自由民主党浜松	議席番号	46	氏名	柳川 樹一郎
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 中心市街地の再整備について	J R 浜松駅前は、浜松の顔ともいえる。その顔たるものが今のままで良いものか疑問を感じている。 駅前の交通状況及び駅南地区への大学等の進出に対して、地域振興と交通体系の整備をどのように考えるか、以下について伺う。 (1) 駅前の交通状況をどのように思うか伺う。 (2) 駅前並びに鍛冶町を再整備する考えはないか伺う。 (3) 駅南地区の地域振興をどのように考えているか伺う。						平井土木部長 濱田都市整備部長 〃
2 徳川記念財団の文化財展示及び所蔵施設建設について	大河ドラマ「どうする家康」の放映が終了してから早や1年が経とうとしている。大河ドラマ館の跡地利用として、徳川家ゆかりの資料展示収蔵施設を建設する計画があった。 「出世の街 浜松」として、徳川家の文化資料の展示所蔵施設を浜松城公園の一角に建設することは、本市にとって最高の観光誘客の手立てだと考える。 そこで、以下について伺う。 (1) 徳川記念財団と本市との覚書の取り交わしについて伺う。 (2) 旧元城小学校の東側の石垣整備はどのように進めているのか。また、北側の斜面も浜松城に相応しい野面積みに改良することが最良と思うが考えを伺う。 (3) 2026 年のNHK大河ドラマは、豊臣兄弟を題材にしたドラマであると決定した。ドラマ内では家康公と秀吉公の関係性が描かれる可能性が高く、本市には秀吉公ゆかりの地も存在していることから、放送を好機と捉え、大河ドラマを活用したイベントの開催など今後の取り組みについて伺う。						中野市長 中村花みどり 担当部長 齊田観光・ブランド振興担当部長
3 シビックコア地区への本庁舎移転について	浜松市役所本庁舎は、北館が建築後 58 年、本館が 44 年経過している。建設当時は教育委員会を含む各部局が本庁に集約されていたが、市町村合併などによる職員数増や、業務の複雑化によって、現在は組織が数か所に分散配置されている。そのため、部局間の連絡調整や移動に手間がかかるなどデメリットが生じている。 さらに、本庁機能が分散配置されたことにより、災害対策本部機能としての役目が果たせないという懸念もある。 また、老朽化により空調設備システムも古く、猛暑が						中野市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	続く適切な執務環境が維持できない状況である。 そこで、以下について伺う。 (1) シビックコア地区の一角に本庁舎を移転する考えはないか伺う。 (2) 本庁舎の移転には計画から実施まで長期間を要することから、今のうちに計画を立てていくことが必要である。 そこで、将来を見据え、分散している本庁機能を集約する第一歩として、静岡県浜松総合庁舎の活用を検討できないか伺う。	
4 篠原地区の多目的ドーム型スタジアム及び道の駅について	篠原地区における多目的ドーム型スタジアムについては、本市として期成同盟会が県に対し要望活動を行っている。さらに本市議会としても多目的ドーム型スタジアム建設促進議員連盟を設立したところである。 また、県の野球場建設予定地の近接地への建設が望まれている道の駅についても面積規模などが示された。 そこで、以下について伺う。 (1) 多目的ドーム型スタジアムにおける県との協議は、どのように進められているか伺う。 (2) 地域から要望の出ている道の駅の構想はどのように進められているか伺う。	工藤企画調整部長
5 J R 高塚駅周辺のまちづくりについて	J R 高塚駅周辺は、篠原、入野地区への交通の要所であり、特に篠原地区の多目的ドーム型スタジアムや道の駅構想の実現のためにも大変重要な地域と考える。 そこで、以下について伺う。 (1) 高塚駅北口第 2 土地地区画整理事業の進捗状況について伺う。 (2) 公共交通の重要な結節点である J R 高塚駅南口の市有地の活用について伺う。	濱田都市整備部長 岡安中央区長
6 中山間地域の創生について	天竜区の人口は約 2 万 5000 人だが、本年度内に 100 歳以上である方は 82 人おり、人口に比して長寿の方が多いことに驚く。 天竜区は、野蓴・木の芽・ゼンマイ・自然薯・アユ・ヤマメ・ジビエ・お茶・茶うどんなど、山の幸が満載である。このように恵まれた資源が豊富にあり、まさに宝の山といえる。また、水力発電として年間総発電量が日本一である佐久間ダムを擁している。しかし、残念ながら、その資源を生かし切れていないように思う。 天竜区の皆さんは、昔培った生活のノウハウを十分に会得しており、そのノウハウを生かしながら、フキノトウ・フキの新芽・セリ・こんにゃくなど、山の幸の名産化をしてはどうかと考える。	

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	また、かつて観光名所であった佐久間ダムを、もう一度観光の名所に再生することが出来ないものか、教育の面からも水力発電の勉強の場にすることが出来ないかと考える。 そこで、以下について伺う。 (1) 地元の食材活用による地域活性化について伺う。 (2) 地域の魅力発信による交流人口の増加策について伺う。 (3) 中山間地域の観光振興の推進について伺う。	仲井天竜区長 〃 齊田観光・ブランド振興担当部長